

製品名: MKP-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13934**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 42kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | DUSP6 |
| 別名 | DUSP6; MKP3; PYST1; Dual specificity protein phosphatase 6; Dual specificity protein phosphatase PYST1; Mitogen-activated protein kinase phosphatase 3; MAP kinase phosphatase 3; MKP-3 |
| 遺伝子 ID | 1848.0 |
| SwissProt ID | Q16828 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト DUSP6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110 |

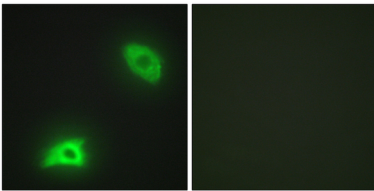
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーのメンバーです。これらのホスファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することで、標的キナーゼを不活性化します。これらは、細胞の増殖と分化に関連するマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼスーパーファミリーのメンバー (MAPK/ERK、SAPK/JNK、p38) を負に制御します。二重特異性ホスファターゼファミリーの異なるメンバーは、様々な MAP キナーゼに対して異なる基質特異性を示し、組織分布と細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子産物は ERK2 を不活性化し、様々な組織で発現しますが、心臓と膵臓で最も多く発現しています。また、このファミリーの他のほとんどのメンバーとは異なり、細胞質に局在します。触媒活性の変異: $\text{リン酸化タンパク質} + \text{H(2)O} = \text{タンパク質} + \text{リン酸}$ 。触媒活性: $\text{タンパク質チロシンリン酸} + \text{H(2)O} = \text{タンパク質チロシン} + \text{リン酸}$ 。機能: MAP キナーゼを不活性化する。ERK ファミリーに特異性を持つ。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。類似性: ロタネーゼドメインを1つ含む。類似性: チロシンタンパク質ホスファターゼドメインを1つ含む。、

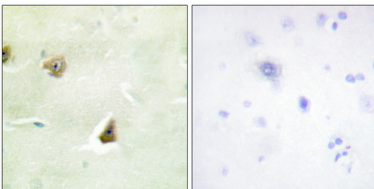
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

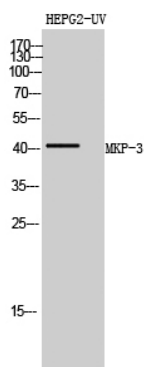
画像データ



DUSP6 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DUSP6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



1: 500 希釈の MKP-3 ポリクローナル抗体を用いた HEPG2-UV 細胞のウェスタンブロット解析